

平成29年度 第2回 教育課程編成委員会議事録

日 時 平成30年2月2日（金）15：00～16：00

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 2階 医療的ケア演習室

出席委員 小野 信一 (釧路市東部南地域包括支援センター センター長)
諫山 邦子 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授)
伊東 義光 (日本介護福祉士会北海道支部根釧地区支部 支部長
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長)

出席職員 種市 司 (釧路専門学校 校長)
阿部 みつゑ (釧路専門学校 副校長)
氏原 陽子 (釧路専門学校 こども環境科学科長)
渡邊 千華子 (釧路専門学校 介護環境科学科長)
田仲 京子 (釧路専門学校 こども環境科教員)
杉村 典史 (釧路専門学校 教務主任)
若生 みゆき (釧路専門学校 事務主任)

欠席者 酒井 恵 (釧路市私立保育園連合会 会長・釧路あさひ認定こども園 園長)
工藤 映美 (釧路市私立幼稚園連合会 理事・認定こども園よしの 副園長)

配付資料 ○議案書（委員名簿・次第）
○資料1・2（経過報告等）
○平成29年度 第1回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録
○修学資金貸付・特待制度について
○こども環境科教育課程
○介護環境科 平成29年度報告

開会宣言（杉村）

挨拶（種市）

次第 1 前回議事録の確認（杉村）
資料 平成29年度 第1回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録 参照
2 経過報告について（種市）資料1・2 参照
3 今年度の教育課程について（資料 こども環境科教育課程・介護環境科 平成29年度報告 参照）
(1) 報告
○こども環境科 報告（氏原）
○介護環境科 報告（渡邊）
・国家試験受験者19名。3月28日結果発表。
(2) 報告に対する質疑応答
伊東委員から質問
修学資金貸付について、自治体ではなく企業として行っているところはあるのか？

学校側から回答（校長）

単体で修学資金の提供をしている施設がある。

小野委員から質問

教育課程について、新旧変わったところはどこか？

学校側から回答（渡邊）

次年度への変更は特にない。

諫山委員から質問

アイスホッケーチームとの交流会は、具体的にどのような内容か？

学校側から回答（渡邊）

本校体育館でユニホックを実施する。全学生が参加。地域交流の要望を頂いた。

小野委員から質問

連携企業の関係で、交流学習以外に特徴的なものはあるか？

学校側から回答（渡邊）

連携企業先の職員を非常勤講師として招く構想があったが、実現しなかった。実習連絡協議会に施設関係者を招いたことが過去にもあり、今年度もあると良いという声がある。

小野委員から意見

企業の連携は積極的に声をかけ、もっと支えてもらえるようアピールして良いと思う。

伊東委員から質問

他職種連携で連携したい職種は？

学校側から回答（渡邊）

ケア・マネージャー、社会福祉士、栄養士、作業療法士、医師、看護師と授業で関りがある。

伊東委員から意見

グループワーク等で他職種がいると面白いと思う。病院との連携もあれば良いと思う。

学校側から問題提起（田仲）

実習での学生の発言を聞き、こども理解がまだ浅く、学校で学んでいることと実際のこどもの様子が結びついていないと感じた。2年間しかないので、現場に今まで以上に協力をして頂きたいと思う。現場から見て、学校でやっておくべきことなどがあれば意見を頂きたい。

諫山委員より意見

少人数で関わることも良いかもしれない。学生が疑問に思ったことに教員が丁寧に回答していく、理論と実践を体験しながら学ぶなどどうか？

学校側から回答（田仲）

施設見学等、集団だと実態が見づらい。次年度改善していきたい。

伊東委員から意見

知識はあるが、コミュニケーションが苦手という人もいる。高齢者との触れ合いが多かった人は、会話をしやすい傾向にあると感じる。地域づくりの中にそういう機会が必要だと思う。気軽に参加できるようなものがあれば良いと思う。

小野委員から意見

こども支援センターとのコラボレーションでお祭りを実施した際に、認知症の利用者が作成した紙のコマをプレゼントにしたことがある。個別支援でも地域支援でも人を育てることができればと思う。

閉会の挨拶（渡邊）

以上

（記録：若生）